

令和5年度

第3回 久米田看護専門学校 学校関係者評価委員会（議事録）

日時：令和5年9月21日（木）

13時30分～14時30分

場所：久米田看護専門学校

会議室

議題

1. 開会あいさつ

本日、学校長が別の公務が入ったため、欠席しています。皆様方には、日ごろから学校の教育活動にご尽力を賜り、誠に感謝申し上げます、ということをお伝えくださいということでした。

副学校長より、今回第3回目であるが、自己点検・自己評価を年に3回行い、関係者評価も3回行うことが必要である。

岸和田市立医師会看護専門学校は、3回実施し、私も参加させていただいている。

当校は、1回だけの開催ですので、今後はこの会も充実する方向で考えていくことが必要かと考えています。

今後とも皆様のご協力を得ながら行いたいとお思っていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

2. 学校運営（学校の状況等）の報告

※令和6年度9月より、府中病院の実習ができなくなり、令和5年7月3日、国立大阪南医療センターの実習施設として認可。

※母性看護学実習は、令和5年8月7日、泉大津市立病院の実習施設として認可。

※府中病院の新病院については、令和7年度に実習施設として申請予定をお願ひしている途上である。

3. 新カリキュラムの運営（令和4年4月からの運用）

※現在2年目になっている。3年間の課程を終えての評価が必要かと思ひますが、学生は自己を振り返ることが難しい傾向のように思ひう。

※問題があれば、すみませんというよりは、私はちゃんとやっていたと主張

したり、何がダメなのか、だれだれさんもしている。等の返答が多い。技術チェックも、教員が指導してみている、やっていますというように、自分の非を認めない傾向で謙虚さが無い。

4. 自己点検・自己評価の状況報告（第2回委員会の意見を踏まえた検証など）

※国家試験の状況

※卒業時のアンケート

毎年、卒業時にアンケートをしているが、卒業することで学校の意図した内容をアンケートすることがうまくできなかった。

そこで、今年は教育課程の目標に対して、1年次・2年次・3年次のそれぞれの目標に対して、どのように達成したのかが分かればと思い、次のようなアンケート内容にした。そうすることで、学生は比較的過去の学習したことを想起し、学生の学びの傾向も把握することができた。

例えば、1年次は、人間とは何かを基礎分野の科目や専門人間の理解ができるように教育課程を組み立てているが、学生は人間とは何かということが明確に理解できていないようで65%の理解である。ただ、人への興味・関心は実習を通して理解が深まったように思う。

5. その他

※授業評価：講義のアンケート調査

令和4年度 1年生は、新カリキュラムについての授業アンケートになります。授業科目は、基礎分野14科目、専門基礎分野18科目、専門分野12科目である。

①授業には積極的に出席したが、4.5点で出席はしているが、②の授業の理解が4.2点ということで、理解することが難しい状況かと推測される。

③私語は慎み、携帯も12月後半から持参しての授業を禁止した。寝ている学生が多いと多くの講師からの意見があるが、適切な態度で授業に参加したという思いがあるようで4.5点と高値である。

④授業を妨げる行為がみられた時の教員の対処については、4.4点で寝ているような学生については、講師から指導することがないからか低い値になっている。

⑤教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったについては、4.3点の平均値である。全体的には低い値であるが、保健体育やカウンセリング論や舞台芸術などは体

験学習型の講義のために高い評価である。

⑥教材の提示については、英語Ⅱや保健体育や解剖生理学（赤松先生担当）の教材が具体的でわかりやすい内容の提示が高値になっている。

⑦この授業で教員の熱意が感じられるでは、授業の内容が、わかることで学生も積極的になり、教員の熱意も感じ取れるという結果のようである。

⑧講師との関係性によって自己の成長につながったと感じているかと推測する。

⑨授業に対する満足度については、平均値で 4.3 で、低値は哲学・文学・文化人類学・病理学・循環器疾患・女性生殖器疾患、看護過程展開技術が低くなっている。

2年生

基礎分野 1 科目、専門基礎分野 8 科目、専門分野 23 科目、である。

①授業に積極的に出席したと③私は私語・飲食・携帯電話の使用を慎み、適切な態度で参加したが、それぞれ 4.7 点である。その他の平均値も 4.5 点と安定した値である。

このクラスは、34 期生で今の 3 年生が 2 年生の時である。2 年生のはじめのころは、実習に向けて頑張っていたが、実習中に SNS 等で自分の頑張ったことを認めてもらおうと投稿したりする学生がいた。実習が終了してからは、次の実習へと取り組む姿勢が、比較的安定した授業への取り組みへと変容していったように思える。

3年生

統合分野 2 科目

3 年生は、今年卒業したアンケートの結果である。

科目は、統合実習に必要な看護管理論や卒後にも必要な看護研究であり、積極的に出席し、適切な態度で参加ということで真面目に取り組んだ結果のように思われる。

各学年の評価のために 1 年からどのように授業に取り組んでいたかということは、わからない調査であるが、学習に対する傾向としては同じような経過をたどるのではないかとも思える。

次回開催予定：令和 6 年 9 月